

第16回歴史地震研究会プログラム

(1) 研究発表会

三重県伊賀上野市 上野ふれあいプラザ 3階中会議室

1999年9月24日 13:30-17:40

主催者挨拶

伊賀上野市長挨拶

[歴史地震研究の方法]

小山真人: 日本の史料地震学研究の問題点と展望—一次世代の地震史研究に向けて—
生島佳代子・小山真人: 天変地異記録媒体としての六国史の解析

早川由紀夫: 9世紀に地震噴火記録が多いのは、単に史料残存条件に恵まれたための見掛け現象か?

山口 亮・佐伯琢磨・坪川博彰: 地震被害想定 of 歴史地震による検証

宇佐美龍夫・渡邊健・八代和彦: 安政東海・南海地震による大阪市中の被害分布

宇佐美龍夫・渡邊健・八代和彦・中村亮一:

歴史地震における震度3～7の分布と活断層分布域

小松原 琢・水野清秀・金田平太郎・須藤宗孝・山根 博:

史料による1662年寛文地震時の三方五湖周辺における地殻変動の復元

[歴史上の津波の被害]

羽鳥徳太郎: 安永元年(1772)岩手県沖地震の規模と津波の可能性

村上嘉謙・都司嘉宣:

津波記録から見た元禄関東地震(1703年12月31日)の地震断層モデルの推定

村上仁士・島田富美男・山本尚明・上月康則・後藤田忠久:

四国四県における地震・津波の記録と被害状況について

谷岡勇市郎: アメリカで記録された1854年安政南海地震津波の解析

佐竹健治: 海底における地震痕跡

9月25日 9:00-12:00

[過去の大きな地震の研究]

井上公夫・今村隆正: 高田地震(1751)と伊賀上野地震(1854)による土砂災害について

榎本祐嗣: 安政見聞誌の地震時斗—地震電磁気学事始—

武村雅之: 1923年関東地震に対する日誌:河合清方の「大地震の記」

武村雅之: 1923年関東地震に対する地質調査所調査報告から推定される被害分布

宮川康平・中西一郎: 1952年十勝沖地震の震源過程

[三重県の歴史地震]

羽鳥徳太郎: 伊勢湾における津波・高潮の波高分布

都司嘉宣: 阿乃津、および志摩国国崎の歴史上の津波被害

中西一郎・荒島千香子・西山昭仁・土佐圭・北村健洋:

安政元年(1854年)伊賀上野地震(1): 史料調査

中西一郎・土佐圭・北村健洋・荒島千香子・西山昭仁:

安政元年(1854年)伊賀上野地震(2): 地震被害と地震動

中村 操: 安政伊賀地震(1854年7月9日)による液状化被害

都司嘉宣: 安政伊賀地震(1854)によって各地で起きたこと

荻谷愛彦: 木津川断層の変位地形とその最新活動

(2)歴史地震フォーラム

伊賀上野商工会議所 大ホール

安政伊賀上野地震(1854年)から三重県の地震防災を考える

主催 歴史地震研究会・伊賀上野市民フォーラム

司会:谷岡勇市郎(気象研)

1999年9月25日 13:30-16:30

開催挨拶

寒川 旭(地質調査所):

三重県の活断層と地震考古学—伊賀上野地震と木津川断層を中心に

中西 一郎(京大理):

史料でみる安政元年伊賀上野地震の進行過程

都司 嘉宣(東大地震研):

史料で見る安政元年伊賀上野地震による個々の被害

中村伊英(伊賀上野市市民防災フォーラム代表):

市民の立場から地震防災のボランティア活動を語る

河田恵昭(京大防災研):

三重県の地震防災

自由討論・市民発言

まとめと閉会の辞

(3)ビジネス・ミーティング

上野市商工会議所 第1会議室

1999年9月25日 16:30-18:00